

## ロシアによるウクライナへの軍事侵略を非難する決議

我が国は、ウクライナの民主化・自由化を推進し、地域の平和と安定に寄与するために国際社会と協調しつつ、同国に対する支援を行ってきた。

そうした中、国際社会の懸命な努力にもかかわらず、2月24日にロシア軍がウクライナへの侵略を開始した。

ロシア軍による侵略は、ウクライナの主権及び領土の一体性への侵害、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、力による一方的な現状変更を認めないという国際秩序の根幹を脅かすものであり、厳しく非難する。加えて核兵器の使用を前提とするかのような発言は、断じて許されるものではない。

ここに犬山市議会は、ロシアに対し、ウクライナへの侵略、軍事行動を直ちに中止するよう求めるものである。

なお、国においては、G7をはじめとする国際社会と連携し、あらゆる外交手段を駆使して、ロシア軍の即時撤収と速やかな平和の実現に全力を尽くすとともに、在留邦人の安全確保に取り組み、更には、国民生活への影響を最小限に抑えることを併せて要請する。

以上、決議する。

令和4年3月4日

愛知県犬山市議会